

トヨタカローラ京都 株式会社

本社: 京都市中京区西ノ京南大炊御門町1-1
TEL: 075-463-1111(営業時間 10:00~18:00)
<https://www.corolla-kyoto.com>
従業員数: 約400名 創業: 1961年
主な事業内容: トヨタ車の新車販売、リース、中古車販売、自動車整備全般、保険代理業、au代理業



JOB INFORMATION

正社員募集

「『おっちゃんとおばちゃん』の求人広告を見て応募です」とお伝えください。



自動車整備士(サービスメカニック)

【内容】お客様のお車の車検やメンテナンス、新車への部品取り付け、中古車の整備まで。トヨタ自動車から提供される独自カリキュラムや整備技術コンクールへの参加などを通じて技術力のレベルアップを目指します。自動車検査員などの国家資格の取得も会社がサポートします。

車体整備士(ボデーペイントスタッフ)

【内容】車のキズや損傷に対して整形、修理、交換する「钣金」、その後に調色した塗料を塗り、最後に磨き美しく仕上げる「塗装」。一台一台丁寧に仕上げ経験を積み重ね技術、知識を高めています。

営業職(カーライフアドバイザー)

【内容】トヨタ車の購入を提案し、販売する仕事。販売だけでなく、車のメンテナンスの誘致、車の知識や魅力を伝える活動など、お客様と信頼関係を結ぶことにつながる取組み全般に携わります。

【歓迎】お客様との末永いお付き合いのために地道に粘り強く取り組める人、車好きな人、人と話すのが好きな人

【問い合わせ先】まずは一度電話かメールにてご連絡ください。

TEL: 075-463-1111 E-mail: saiyou@corollakyoto.co.jp

新卒採用を目的とした広報活動は、その年の内閣府提示の日程に準じます(例: 広報活動開始は卒業・修了年度に入る直前の3月1日以降)。「在学中のみなさんが今何年生なのか」に応じて、時期により、お伝えすべき情報は変わりますので、詳細は人財開発グループに直接お問合せください。

Q ディーラーでの仕事で大切にしていることは何ですか?
平岡: 安全、安心、速く。この順で仕事をしています。お客様に安全に乗つていただくことが一番。さらに、我々整備士が安全に作業することも大切。安全にはその2つの意味があります。整備士が安全に作業することも大切。

Q 整備士としてうれしかったことは何ですか?
平岡: 車の故障が直ったときです。以前、ハンドルを切ったときエンジンが振動する原因不明の故障があり、あちこち調べた末、燃料パイプのある部分に水がたまっているのを発見。夏特有

Q ディーラーでの仕事で大切にしていることは何ですか?
瀧之上: 銛金塗装歴21年です。目標は「直した箇所がわからない」完成度です。お客様にとって車の傷は大きなショック。そこを新品レベルに戻すのが目標です。銛金塗装技術は青天井と言われるほど、上には上がりますが、そこがおもしろさでもあります。

Q 整備士としてうれしかったことは何ですか?
瀧之上: 車の故障が直ったときです。以前、ハンドルを切ったときエンジンが振動する原因不明の故障があり、あちこち調べた末、燃料パイプのある部分に水がたまっているのを発見。夏特有

の湿気が要因のようでした。誰もが首をかしげる難問を解決し、お客様から感謝される。幸せな仕事です。

瀧之上: 求めるレベルが高いお客様に納得していただけたことです。直しに色味が気に入らないと戻してきた方がいて、何度も苦心して対応したところ、次にはなんと息子さんの車で私を指名してくださいました。「諦めず向き合ってよかったです」と思った瞬間でした。

野堀: 意見をくださるお客様ほど、信頼関係を築けることが多いものです。私も以前、対応を任せられ、一年半かけて関係を築いた結果、すごく信頼してくれるようになりました。お客様だけではなく、働く現場も人ととの関係が大事です。企業見学の際には、社員さん同士の何気ない会話に注目し、お互いに尊重し合いながら働いているか等、会社の雰囲気もぜひ見てください。

平岡 俊弥さん トヨタカローラ京都の技術改善室副室長。「整備の匠」的存在。
瀧之上 雄さん トヨタカローラ京都のペイントエンジニアリーダー。塗装の魔術師。
野堀 昌史さん 車も人もお任せ!トヨタカローラ京都の現場を知る採用担当。



訪問した感想

「学生の皆さんの真剣に取り組む姿がとても印象的でした。日本工科大学のきれいで充実した施設の中で、国家資格I級や銛金・塗装など多方面の知識・技術を学べる点に、大きな魅力を感じました。(野堀)」

©日本工科大学校

日本工科大学校の整備士の卵たち

職人という生き方

今回は姫路市の日本工科大学校の自動車工学科に、自動車整備士のプロフェッショナルとして活躍するトヨタカローラ京都の「先輩」が訪問、学生たちの思いを聞いた。



一級自動車工学科3年

よこや こうすけ
横矢 光輔さん

兵庫県出身。実家が自動車整備工場を営み、小さい頃から「自分も手伝いたい」と思っていた。実習と座学のバランスが良く、効率的に学べる日本工科大学校を選んだ。



一級自動車工学科3年

よねだ しりゅう
米田 資龍さん

兵庫県出身。小さい時にディーラー店の工場を見学させてもらい、小4で整備士になると決める。工業高校の先生に資格の必要性を教わり、日本工科大学校に入学。



カスタム自動車工学科4年

やまかわ たいが
山川 大河さん

岡山県出身。自動車工場に勤める祖父を見て、幼少期から「車の構造を知りたい」と憧れていた。入学後の選択肢の広さに魅力に感じて日本工科大学校に入学。



カスタム自動車工学科4年

やまさき こうた
山崎 剛大さん

兵庫県出身。父がトラック運転手。幼い頃から車のイベントに連れて行ってもら、車好きになりました。さまざまな資格が取れ、楽しそうな雰囲気の日本工科大学校に入学。



作り手によって異なる、いろいろなメーカーの車を広く学びたいと入学。企業の方の講演や、各メーカーの車で実習できるのがおもしろいです。いま配線を学んでいますが、教科書だけでは難しいことも、実車で測定し、値を見ることで理解が深まります。正確な値が出た時はうれしいです。将来は実家に入るかメーカー就職かで迷っていますが、今回お会いした先輩方のお話を参考に、視野の広い、整備士になりたいです。



設備が整い、実習時間が多く、しっかり技術が身につく。入学してその通りと実感します。いろいろなメーカーの方が来て直接教えてくださるので、視野も広がります。印象に残る実習は「内装はずし」。メーカーごとにまったく異なる内張りクリップの位置を探し出し、パネルをきれいに直せたときの達成感は忘れられません。将来、どんなトラブルにも落ち着いて対応でき、信頼される整備士になるために、意識も技術も磨いていきたいです。



普通科高校出身。いくつか専門学校を見学し、一番おもしろそうと感じたこの学校に進学。自分が思い描く理想の車を一から制作し、日々ワクワクしながら学び、さまざまな知識を得ています。他校では、車体から外された部品単体で、実習するという話も聞きます。一方、本校では車体設置のまま、実際の状態で部品の整備ができるので、運転できます」と言ってもらえてうれしかったです。整備、銛金、塗装など車のことならなんでもできる、頼られる整備士になりたいです。

